

令和5年度 東部地区幼・保・小連携推進協議会 実施報告



埼玉県マスコット「コバトン」

- 1 期 日 令和5年8月17日（木）
- 2 会 場 市民プラザかぞ
- 3 目 的

東部管内において、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校及び義務教育学校（前期課程）の教職員による研究協議会等を実施することにより、異校種の教育への理解促進及び異校種との連携意識の高揚を図り、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続につなげる。

4 内 容

(1) 全体会

- ①【国及び県の関係事業説明】
- ②【講演】 学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について
～幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会「審議まとめ」を手がかりに～
講師 加須市立花崎北幼稚園 園長 佐藤 元治 様

(2) 分科会【研究協議】

- ①幼児教育施設と小学校等の教職員が、それぞれの保育・教育への理解を深めるためにどのような工夫が必要か。
- ②子供の発達や学びの連続性を確保するため、幼児教育施設や小学校等として、これから何に取り組んでいく必要があるのか。
- ③子供が必要な体験を得られるように指導計画を作成するには、どのような工夫が必要か。

- 5 参加者 小学校・義務教育学校（前期課程）・幼稚園・保育所・認定こども園・東部管内各市町教育委員会 **合計164名**

6 参加者の感想

- ・ 幼児教育と小学校教育の接続について具体的な実践や目指す方向性について学ぶことができ、とても充実した内容でした。
- ・ 0歳から18歳までの学びは連続しているという言葉が印象的でした。そのことを意識して子供と関わっていきたいと思います。
- ・ 実際に異校種の先生方と協議をすることで、それぞれの課題や解決策等が見えてきました。このような場はとても大切だと感じました。
- ・ 参考になる取組があり、大きなヒントをいただきました。
- ・ 子供同士の交流だけでなく先生同士も交流することで、多くの気付きがあり、今後の指導につながると感じました。



全体会 講演



分科会

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続について協議